

平成22年度 学校評価（最終評価）

本年度の重点目標		進路実現に向けての、指導の充実				
番号	担当	重点目標	評価項目	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
1	総務	・業務の円滑な処理を進める。 ・保護者のPTA活動への理解を図る。	・業務が滞りなく、効率的に処理できたか。 ・保護者のPTA活動への意識が高まったか。	・総務内で連携をはかりつつ、早めの準備を行う。 ・PTA活動や呼び掛けを通じ、意識を高める。	・「全高P連賠償責任補償制度」について、再度周知した方が良いかもしれない。その他はおおよそ、順調に処理されている。	・「全高P連賠償責任補償制度」については、全保護者へのアンケートで確認した。 ・PTA活動は、「ふれあい喫茶」など好評なものもあるが、全体的にはやや低調。
2	教務	・授業規律を確立する。 ・考査の取り組みを向上させる。	・授業規律は守られているか。 ・取り組みは良くなったか。	・学習環境を改善する。 ・生徒の実態に合った学習を行う。 ・考査の重要性を理解させる。 ・受験態度を向上させる。	・授業規律に問題がある生徒がいるが、全体としては、良好である。 ・真面目に考査に取り組む生徒が増えてきた。	・年度当初、落ち着きは無気な雰囲気であったが、徐々に学校（授業等）への取り組みが良くなってきた。 ・概ね真面目に取り組んでいた。考査問題を検討し、時間的に十分な問題を作成して欲しい。
3	生徒指導	・規律ある学校生活 ・交通安全の指導 ・校内美化の推進	・指導を受けた生徒に改善がみられたか。授業、集会等の態度は良好か。 ・自動車、原付登録の徹底ができたか。交通安全に関する指導に工夫ができたか。生徒の交通安全に対する意識が高まったか。 ・大掃除がしっかりとできたか。教室、廊下をきれいに保つことができたか。下足指導ができたか。	・時間をかけて改善点を理解させる。根気よくルールを守るよう指導をする。 ・登録の呼び掛け、無登録者への指導、交通安全指導の充実。 ・大掃除企画の改善。定期的な見回り、声かけ。	・集会の集合や態度は、概ね良好である。 ・ルールを守る意識が少しずつついてきた。 ・きちんと登録ができています。 ・ゴミを残していき生徒がいるが、教室の使い方はきれいになってきた。	・集会等に対する態度は良好であった。 ・登録はきちんとできていた。交通安全指導も工夫をして実施できた。今後はマナーの指導も強化していきたい。 ・生徒がしっかりと掃除に取り組んでおり、教室の使い方よくなってきた。
4	生徒会	・学校行事の再構築	・学校行事に新しいアイデアを持ち込み、それを成功へと導くことができたか。 ・学校行事に関わる教員や生徒が積極的に動き、行事全体へ貢献したか。	・クラス、学年、部活動、有志などの発表におけるアイデアを、生徒会から職員や生徒に積極的に投げかけ意見を求める。 ・互いの意見交換を通じて、学校全体が目指すべく行事の在り方を探り、新しい学校行事の成功へとつなげる。	・学校祭を三日間で実施するという新機軸を打ち出すことができた。 是非、成功へつなげたい。	・学校行事を再構築するという目標の下、生徒会執行部を中心として学校祭を三日間で実施した。実施していたまでの過程で紆余曲折があったものの、生徒会執行部が中心となり、自分たちの手で行事を作り上げ成功に導いたことが非常に意義深い。生徒会執行部を中心とし、学校全体で行事を作り上げる雰囲気を高める努力をした。
5	保健給食	・健康に対する意識を向上させる。 ・教育相談体制を充実させる。 ・食に対する意識を向上させる。 ・給食マナーを向上させる。	・治療率が改善されたか。 ・健康に対する意識が変化したか。 ・教育相談がスムーズに行われたか。 ・食生活に対する意識が変化したか。 ・給食時のマナーが改善されたか。	・検診結果の保護者への案内を行う。 ・保健だよりを充実させる。 ・歯科指導、命と性に関する教育などの保健指導を行う。 ・積極的な情報交換を行う。 ・スクールカウンセラーとの連携の強化。 ・給食だよりを充実させる。給食週間を充実させる。給食時の声かけ指導を実施する。	・受診勧告は例年通り実施。治療率も例年並みで、良いとはいえない。 ・本年度は麻しんの予防接種（18歳対象）を積極的に呼びかけている。 ・担任会での情報交換、スクールカウンセラーとの連携などにより、教育相談活動が向上してきている。 ・給食を食べずにファーストフード等を食べている生徒がいる。 ・マナー指導を継続的に実施中。一部生徒のマナーの悪さが目立つ。	・受診勧告や保健だより、各種保健指導を通じて健康に関する情報を発信することができた。今後も生徒に身近な情報を多く提供していきたい。 ・担任会や出欠統計、スクールカウンセラーとの連携などによって生徒情報の把握がやりやすくなった。 ・食生活の偏り（ファーストフード等）がある生徒が見受けられる。食育の必要性を感じる。給食時の手洗いは年間の指導を通じて定着してきた。
6	進路指導	・進路の実現に努める。	・生徒の進路意識を高めることができたか。 ・進路情報を適切に提供できたか。 ・進路決定の後押しと、就職試験への準備や対策等ができたか。	・進路ガイダンスを実施する。 ・卒業した先輩たちの「進路講演会」を実施する。 ・各学年との連携を深め、進路情報の提供を進める。	・進路情報の提供は、その時々状況の説明することができた。 ・「進路講演会」は、非常に大きな成果があった。	・就職希望者のほぼ全員の内定が決定し、当初の目的を達成することができた。 ・今年度は本人の希望を最優先したので、高望みの企業も多く1回目の入社試験に不合格になる生徒も多かったが、粘って2次3次の試験に合格した生徒も多かった。 ・今年度は、早くから企業見学、面接指導などを行ってきた。
7	建築	・もの作りの過程を学ぶ中、適切に取り組む態度を身につけ、基礎的な技能の修得を図る。	・もの作りに興味・関心が高まりスキルアップに結びついているか。 ・コンピュータや工作機械など支援機材活用の知識・能力は高まったか。 ・適切な態度で取り組むことができたか。	・建築物の主要材料である木・鉄を中心に作品制作に取り組む。 ・もの作りの企画・設計段階などでコンピュータの活用を図る。 ・意欲的に喚起できる課題を提供し、真摯に取り組む環境をつくる。	・ものづくりでは、座学に比べ意欲的な取組姿勢が見られる。支援機材（コンピュータ、工作機械）への理解も深まりつつあるが、技能の習得に向け、さらなる継続が必要である。	・コンピュータを利用した授業には関心が高く、取り組みは良い。CADでは活用の範囲が基礎的な範疇で継続性が不十分であり、修得のためには長期の指導ができる体制が必要である。 ・ものづくりは、毎年生徒に人気のある授業となっているが、生徒数に対して職員の数が不足しており、安全面も含め検討が必要である。
8	電子機械	・基礎・基本を重視した座学・実習展開を心掛ける。 ・安全を考慮した実習展開を心掛ける。	・安全作業に心掛けたか。 ・基本を大切に授業ができたか。 ・時間を遵守し、しっかり取り組めたか。	・視覚・触覚に訴えた授業になるよう工夫する。 ・実習前集合時に服装や心構えなど注意指導を徹底する。 ・教員が複数で指導にあたり安全作業を高める。	・個人差はあるものの、基礎的な内容はしっかり身につけることができた。教員が複数で指導にあたっているため、安全面での大きな問題はない。	・視聴覚教材への反応は良かったが、これに併せて触覚を働かせられるような模型教材の導入も取り組みたい。 ・複数の教員が対応することで、実習における生徒の安全教育は徹底することができた。また、点呼を行うことで生徒の作業着着用を徹底できた。
9	1学年	・基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・無断欠席・遅刻早退をなくす。 ・挨拶を励行させる。	・マナーが身に付いてきたか。 ・連絡があるか。 ・挨拶できるようになったか。	・保護者との連絡を密にする。 ・生徒への声かけを行う。	・一部に不十分な生徒もいる。 ・欠席の連絡等は、概ね取れている。 ・挨拶については、少しずつ身に付きつつある。	・無断欠席については、改善されてきたが、一部の生徒については指導が必要である。 ・授業に対し前向きな生徒が多いが、集中できない生徒がおり、根気強く指導したい。 ・日頃から、挨拶出来る生徒が多くなっている。今後、更に進めていきたい。
10	2学年	・規律ある生活習慣を定着させる。（欠席・遅刻を減らす。） ・挨拶・マナー（ゴミ捨て、土足、携帯電話使用等）を確立する。	・欠席・遅刻が減ったか。 ・マナーが向上したか。	・欠席連絡を行わせ密接に家庭への連絡を行う。 ・生徒への声かけを行う。マナー違反があった場合には指導する。	・一部の生徒に欠席、遅刻が多い。欠席連絡は大多数の生徒が、本人からしてくる。 ・一部の生徒にマナー違反がみられる。	・一部の生徒に欠席、遅刻が多い。欠席連絡は大多数の生徒が、本人からしてくる。 ・一部の生徒については指導が必要である。 ・携帯電話の使用に指導が必要な生徒が一部いる。
11	3学年	・学校生活上のマナーを向上させる。 ・学校行事等に積極的に参加する。	・欠席・遅刻、が減り、教室内の美化が進んだか。 ・出席状況や参加態度が向上したか。	・家庭や本人への連絡を密にする。 ・クラス委員を中心に全員が協力する。	・特定の生徒に欠席、遅刻が目立つ。 ・係の努力により、美化が進んでいる。 ・球技大会では、一部生徒の意欲が低かった。	・特定の生徒に欠席、遅刻が目立った。 ・係の努力により美化が進んでいるが意識が低い生徒もいる。 ・学校祭、修学旅行ではそれぞれの立場で全員が協力できた。
12	年4学	・充実した学校生活を送らせ、卒業させる。 ・進路を考えさせ、希望を実現させる。	・全員が卒業できたか。 ・希望が叶えられたか。	・目標を決め学校生活を過ごさせる。 ・進路指導部と連携し指導する。	・概ね順調に学校生活を送っている。 ・就職試験一次の結果は厳しかった。	・全員が卒業した。（A 9名 R15名） ・希望者全員が就職・進学できた。
13	工務	・資格取得を目指す。	・合格者増を図れたか。	・授業及び部活動で指導する。	・計算技術検定3級、建築製図技能検定、旋盤技能検定、アーク溶接技能検定、顕微鏡など、多くの合格者が出た。	・建築製図技能、旋盤技能、アーク溶接技能、計算技術検定3級、第二種電気工事士、危険物取扱者乙種1類4類6類、愛知県技術顕彰など多くの合格者が出た。

